

公益社団法人 化学工学会
粒子・流体プロセス部会 2012年度第1回幹事会

日時：2012年3月16日 12:00-13:00

会場：工学院大学 化学工学会第77年会M会場

議題：

1. 前回幹事会議事録の確認【資料1】
2. 2011年度部会・分科会活動報告【資料2】
(担当：部会長、各分科会代表)
3. 女性・若手育成プロジェクトの実施報告【資料3】
(担当：鷲見副部会長, 所幹事)
4. 2011年度部会賞について【資料4】
(担当：上ノ山副会長)
 - ・シンポジウム賞 (担当：太田幹事)
 - ・動画賞 (担当：本間幹事)
 - ・フロンティア賞 (担当：梶原幹事)
 - ・技術賞 (担当：筒井幹事)
5. 2011年度決算について【資料5】
(担当：部会事務局)
6. 2012年度部会・分科会事業計画【資料6】
(担当：部会長、各分科会代表)
 - ・第43回秋季大会シンポジウム【資料6-1】
 - ・年鑑執筆者【資料6-2】
7. 2012年度予算について【資料7】
(担当：部会事務局)
8. 2012年度の幹事会役員ならびに役割分担について【資料8】
(担当：上ノ山次期部会長)
9. 教科書あるいは専門書の発行について【資料9】

10. 会員の状況について【資料10】

(担当：上ノ山次期部会長)

11. 次回幹事会開催日程について

*第44回秋季大会：2012年9月19日～21日 東北大学

幹事会：2012年9月 日

12. その他

以上

公益社団法人 化学工学会
粒子・流体プロセス部会 2011 年度第 2 回幹事会議事録（案）

日時：2011 年 9 月 14 日 12:00～13:00

会場：名古屋工業大学 R 会場

出席者：齋藤，上ノ山，鷺見，竹田，梶原，太田，寺坂，西岡，松隈，本間，後藤，所，加納

1. 第一回幹事会資料の確認
東日本大震災の影響により開催できなかった幹事会資料を確認した。
2. 部会セミナーについて
部会セミナー担当の梶原幹事より，次回年会の前日に開催するということが提案され，これを了承した。
3. 女性・若手育成プロジェクトについて
鷺見副部会長，所幹事より，昨年度の若手・女性育成プロジェクトの実施報告並びに本年度も開催する予定であることが説明された。
4. 部会賞について
上ノ山副部会長より，昨年度の部会賞の受賞者の報告がなされた。本年度の部会賞の審査状況ならびに公募状況が説明された。シンポジウム賞ならびに奨励賞の対象者を明確にする必要があることが示され，次回幹事会にて改正案を示し，議論することとした。
5. ニュースレターについて
後藤幹事より，本年度のニュースレターを 10 月中旬に発行する予定であることが説明された。
6. 分科会への予算配分について
部会長より本年度の分科会への予算配分に関して説明があり，昨年度と同様に配分することが了承された。
後藤幹事より，部会セミナーの経費を部会共通経費として計上した方が良いのではないかとのご提案があり，来年度の経費として計上することとした。
7. 会員状況について
部会事務局より，個人会員は増加し，部会法人会員が減少する方向であることが報告された。
8. 代議員の推薦について
平成 24 年，25 年度の代議員が紹介された。
9. 自己評価書の提出について
自己評価書に対する部会委員長のコメントが紹介された。

10. 次期会長について

会員からの推薦に基づき、次期部会長の協議を行った結果、上ノ山周先生（横浜国大）を候補とすることが了承された。

11. その他

①化学工学誌小特集について

本間幹事（部会代表編集委員）から化学工学誌の特集について紹介された。

以上

粒子・流体プロセス部会 2011年度(2011年3月～2012年2月)活動報告書

2012年2月24日

1. 国際関連事業

月日	行事名	共催・協賛団体	会場	参加者		
				国内	国外	合計
9月10～12日	The 2nd international symposium on "Multi-scale Simulations of Biological and Soft Materials" (MSBSM 2011)	【主催】本国際会議 実行委員会 【協賛】粒子・流体 プロセス部会	京都大学 芝欄会館・ 稲森ホー ル	60	11	71
10月4～7日	1st International Symposium on Multiscale Multiphase Process Engineering (MMPE)	【主催】粒子・流体 プロセス部会気泡・ 液滴・微粒子分散 工学分科会	金沢文化 ホール	88	25	113
12月15～16日	第3回日韓粉体技術シンポジウム	【主催】日本粉体工 業技術協会 【協賛】粒子・流体 プロセス部会粉体 プロセス分科会	春川大学 (韓国)	31	30	61

2. シンポジウム・講演会などの行事

月日	行事名	共催・協賛団体	会場	参加者
6月3～4日	分離技術会年会2011	【主催】分離技術会 【協賛】粒子・流体 プロセス部会	明治大学 生田キャンパス	358名
3月17日	第2回先端微粒子ハンドリング講演会	【主催】粒子・流体 プロセス部会粉体 プロセス分科会	岡山大学 津島キャンパス	17名
3月21日	粒子・流体プロセス部会セミナー	【主催】粒子・流体 プロセス部会	東京農工大学 小金井キャン パス	東日本大震災のた め中止
7月14日	粉体工学会2011年度第1回計算粉体力 学研究会	【主催】粉体工学会 【協賛】粒子・流体 プロセス部会	同志社大学 今出川キャン パス	31名
8月30～31日	粒子・流体プロセス部会平成23年度ミキ シング技術分科会夏期セミナー	【主催】粒子・流体 プロセス部会ミキ シング技術分科会	JR博多シティ会 議室	73名

9月7日	第3回先端微粒子ハンドリング講演会	【主催】粒子・流体 プロセス部会粉体 プロセス分科会	京都大学 吉田キャンパス	10名
9月13日	熱流体工学セミナー2011	【主催】粒子・流体 プロセス部会熱物 質流体工学分科会	名古屋工業大学	25名
10月17日	第4回先端微粒子ハンドリング講演会	【主催】粒子・流体 プロセス部会粉体 プロセス分科会	大阪アカデミア	9名
11月2日	第20回東日本地区ミキシングサロン	【主催】粒子・流体 プロセス部会ミキ シング技術分科会	横浜国立大学	38名
11月12日	粉体工学会2011年度第2回計算粉体力 学研究会	【主催】粉体工学会 【協賛】粒子・流体 プロセス部会	同志社大学 今出川キャンパ ス	17名
11月21～22 日	第17回流動化・粒子プロセッシングシン ポジウム	【主催】粒子・流体 プロセス部会流動 層分科会	名古屋大学 野依記念学術交 流館	94名
12月2日	第21回関西・東海地区ミキシングサロン	【主催】粒子・流体 プロセス部会ミキ シング技術分科会	大阪大学豊中キ ャンパス	33名
12月20日	第16回九州地区ミキシングサロン	【主催】粒子・流体 プロセス部会ミキ シング技術分科会	九州大学西新ブ ラザ	20名
12月20日	粉体工学会粉砕の高度利用研究会	【主催】粉体工学会 【協賛】粒子流体プ ロセス部会	兵庫県立大学 新在家キャンパ ス	25名

3. 本部大会・支部行事関連行事

月日	行事名	共催・協賛団体	会場	参加者
9月14～15日	化学工学会第43回秋季大会 先端粉体プロセス技術－粒子設計，機 能化，計測評価と単位操作	【主催】粒子・流体 プロセス部会粉体 プロセス分科会	名古屋工業大学 E会場	50名
9月14～15日	化学工学会第43回秋季大会 ミキシング技術の最前線	【主催】粒子・流体 プロセス部会ミキ シング技術分科会	名古屋工業大学 R会場	40名
9月14～15日	化学工学会第43回秋季大会 気泡・液滴・微粒子分散工学2011	【主催】粒子・流体 プロセス部会	名古屋工業大学 X会場	50名

9月14～15日	化学工学会第43回秋季大会 プロセス強化実現に向けたダイナミックな 反応と移動現象の応用	【共催】粒子・流体 プロセス部会熱物 質流体工学分科会	名古屋工業大学 K会場	40名
9月15～16日	化学工学会第43回秋季大会 プラズマプロセッシングによる化学工学 の新展開	【共催】粒子・流体 プロセス部会熱物 質流体工学分科会	名古屋工業大学 G会場	30名

4. 講習会などの啓発活動

月日	行事名	共催・協賛団体	会場	参加者
10月5～7日	粒子・流体プロセス部会技術コース 2011 (第25回流動層技術コース)	【主催】粒子・流体 プロセス部会流動 層分科会	産業技術総合研 究所つくば西事 業所 東京工業高等専 門学校	6名
12月2日	若手研究者のための交流ランチ会	【主催】粒子・流体 プロセス部会	学士会館	24名

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

月日	出版物名	出版社	発行部数
9月30日	Mixing Technology Now No.16		200部

6. 受託事業の推進

月日	テーマ	委託元	参加人数	期間

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

月日	発行物	発行部数
11月9日	粒子・流体プロセス部会ニュースレター	メール配信とWEB
5月30日	気液固分散工学ニュースレター(第5号)	メール配信とWEB
12月26日	気液固分散工学ニュースレター(第6号)	メール配信とWEB

以上

平成24年3月16日

＜女性・若手育成プロジェクト＞報告書

名称：若手研究者のための交流ランチ会

形式：パネルディスカッションおよびランチ会

目的：PD、博士課程学生、将来博士課程進学を考えている学生を対象とし、企業で活躍中の博士号取得技術者と直接交流することによって、博士課程への進学および博士終了後のキャリアアップに対する当該学生のイメージアップを図る。

対象：PD、博士課程学生、将来博士課程進学を考えている修士・学部学生

日程：2011年12月2日（金）12時開場 12時30分開始（2時間程度）

場所：学士会館

趣旨：昨年度、関西で開催された「女性研究者・技術者の育成および交流を目的としたパネルディスカッションおよびランチ会」に引き続き、女性・若手育成プロジェクトの第2弾として企画した。PD、博士課程学生、将来博士課程進学を考えている学生を対象として、企業で活躍中の博士号取得技術者を講師として招くことによって、博士課程終了後のキャリアアップについて大いに夢を持ってもらうことを目的とした。

パネラー：

三菱マテリアル(株) 中央研究所反応プロセス開発センター 林 浩志 氏

新日本製鐵(株) 技術開発本部 環境・プロセス研究開発センター三尾 浩氏

(株)カネカ 生産技術研究所 生産技術研究グループ 平野 優氏

参加者：24名（東京大学および早稲田大学の学生が多数参加）

実施内容：

パネラー及び参加者の自己紹介に引き続き、パネラーの略歴と現在の仕事を紹介していただき、学生からの質問を受ける形式でパネルディスカッションを実施した。特に、博士課程修了者の企業での仕事や将来の進路等について、パネラーから経験と心得等を語っていただき、学生からも多数の質問もあり、有意義な意見交換ができた。

以上

2011年度化学工学会 粒子・流体プロセス部会賞（敬称略）

シンポジウム賞 担当 太田 光浩

（プレゼンテーション賞）平成23年10月1日付 賞状（+副賞の額）を発送済み。

神戸大学 江崎 竜行「空間変動操作による酢酸ビニルの乳化重合プロセス強化」

金沢大学 辻 将之「レーザーオープン法における粒子生成過程の温度制御粒子形態に及ぼす影響」

山形大学 芦野 千尋「気液分散が及ぼす高粘度液の混合への影響」

名古屋大学 羽根田晃一「気泡塔へのマイクロバブルの分散によるエマルジョンからの油分分離」

（奨励賞）平成24年3月16日 総会時に表彰。受賞記念講演は部会セッションにて執行。

大阪大学 名嘉山 祥也「複合材料の混合状態の定量化：多階層スケールの不均一性」

フロンティア賞 担当 梶原 稔尚

平成24年3月16日 総会時に表彰。受賞記念講演は部会セッションにて執行。

弘前大学 官 国清

東京大学（現東京農工大学） 伏見 千尋

東京大学 中村 有 石束 真典 堤 敦司

産業技術総合研究所 松田 聡 鈴木 善三 幡野 博之

シンガポール国立大学 Yongpan Cheng Eldin Wee Chuan Lim Chi-Hwa Wang

「Flow behaviors in the downer of a large-scale triple-bed combined circulating fluidized bed system with high solids mass fluxes」

技術賞 担当 筒井 俊雄

平成24年3月16日 総会時に表彰、受賞記念講演を執行。

月島機械株式会社 寺腰 和由

三機工業株式会社 廣瀬 均

前 独立行政法人 土木研究所 岡本 誠一郎

独立行政法人 産業技術総合研究所 鈴木 善三

「下水汚泥の加圧流動焼却システムの実用化」

動画賞 担当 本間 俊司

平成24年3月16日総会時に表彰、作品鑑賞会を執行。

（研究部門）

鹿児島大学 甲斐 敬美 田代 祐也 中里 勉

「流動化ガスの切り換えによって起きる非流動化現象の可視化」

（技術部門）

旭有機材工業株式会社 花田 敏広 岡田 貴弘 山田 崇 李 勝利

黒田 健司

「流体の流れ方向の濃度ムラを効果的に均一化できる静止型ミキサの検討」

（教育部門）

広島大学 萩 崇 奥山 喜久夫

「研究および教育のためのエアロゾル挙動の可視化」

以上

平成23年度 粒子・流体プロセス部会決算書

粒子・流体プロセス部会

部会長 齋藤文良



粒子・流体プロセス部会 損益計算書

(平成23年3月1日から平成24年2月29日まで)

(単位:円)

科目・内訳	予算	決算	差異	備考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 会費収入	832,000	760,000	72,000	
部会個人会員会費			0	
部会法人会員会費			0	
部会学生会員会費			0	
個人賛助会員	32,000	35,000	-3,000	
法人賛助会員	800,000	725,000	75,000	
② 事業収入	500,000	0	500,000	
セミナー収入	500,000	0	500,000	
③ 分科会収入	3,630,000	3,365,613	264,387	
熱物質流体工学分科会収入	180,000	72,500	107,500	
ミキシング技術分科会収入	1,230,000	1,708,000	-478,000	
気液固分散工学分科会収入	20,000	0	20,000	
流動層分科会収入	2,000,000	1,585,113	414,887	
粉体プロセス分科会収入	200,000	0	200,000	
④ 雑収入	0	50	-50	
⑤ 利息収入	5,000	1,184	3,816	
粒子・流体プロセス部会利息収入	1,000	180	820	
熱物質流体工学分科会利息収入	1,000	128	872	
ミキシング技術分科会利息収入	1,000	324	676	
気液固分散工学分科会利息収入	1,000	215	785	
流動層分科会利息収入	1,000	239		
粉体プロセス分科会利息収入	1,000	98		
⑥ 他会計からの繰入金	550,000	1,511,249	-961,249	
本部より(共催金)	0	778,000	-778,000	
部会交付金(本部より)	550,000	733,249	-183,249	
秋季大会還付金収入		0	0	
事業活動収入計	5,517,000	5,638,096	-121,096	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	700,000	184,219	515,781	
講演会経費	200,000	149,724	50,276	
セミナー経費	300,000	0	300,000	
部会賞表彰経費	200,000	34,495	165,505	
② 分科会事業費	4,430,000	3,523,599	906,401	
熱物質流体工学分科会事業費	230,000	104,178	125,822	
ミキシング技術分科会事業費	1,430,000	1,550,634	-120,634	
気液固分散工学分科会事業費	270,000	144,111	125,889	
流動層分科会事業費	2,200,000	1,337,463	862,537	
粉体プロセス分科会事業費	300,000	387,213	-87,213	
③ 管理費支出	350,000	466,223	-116,223	
会議費	50,000	69,100	-19,100	理事会、幹事会費用他
旅費交通費	100,000	59,000	41,000	
通信運搬費	20,000	6,240	13,760	
消耗品費	30,000	35,926	-5,926	
IT化費	0	50,000	-50,000	
雑費	20,000	15,857	4,143	振込手数料他
人件費(アルバイト)	130,000	230,100	-100,100	
④ 他会計への繰出金	30,000	733,249	-703,249	
化学工学会本部への繰出(含共催)	30,000	733,249	-703,249	
事業活動支出計	5,510,000	4,907,290	602,710	
3. 事業活動収支差額	7,000	730,806	-723,806	
II. 投資活動収支の部				
1. 特定資産取崩収入			0	
2. 特定資産取得支出		3,943	-3,943	
3. 投資活動収支差額	0	-3,943	3,943	
当期収支差	7,000	726,863	-719,863	
前期繰越金		2,940,965	-2,940,965	
次期繰越金		3,667,828	-3,667,828	

粒子・流体プロセス部会 貸借対照表

(平成24年2月29日現在)

(単位:円)

科目・内訳	当年度末	前年度末	増減	備考
I. 資産の部				
1. 流動資産				
現金	5,849	0	5,849	
預金	3,661,979	2,940,965	721,014	
部会事務局 普通預金 荘内銀行仙台支店	765,759	343,331	422,428	
熱物質分科会 普通預金 西日本銀行周船寺支店	255,963	201,645	54,318	
ミキシング技術分科会 普通預金 福岡銀行周船寺支店	438,506	168,757	269,749	
気液固分散工学分科会 普通預金 三井住友銀行鹿児島支店	140,164	253,381	-113,217	
流動層分科会 普通預金 鹿児島銀行 鴨池支店	1,797,079	1,470,705	326,374	
粉体プロセス分科会 普通預金 ゆうちょ銀行五四八	264,508	503,146	-238,638	
未収金			0	
前払い金			0	
流動資産合計	3,667,828	2,940,965	726,863	
2. 固定資産				
(1) 特定資産				
ミキシング技術分科会行事積立資産				
普通預金 福岡銀行 周船寺支店	1,700,000	1,700,000	0	
気液固分散工学分科会事業積立資産				
普通預金 三井住友銀行 鹿児島支店	1,150,000	1,150,000	0	
熱物質流体工学分科会事業積立資産				
普通預金 西日本銀行 周船寺支店	619,156	619,156	0	
流動層分科会事業積立資産	571,435	567,541	3,894	
普通預金 第四銀行 内野支店	0	49	-49	
普通預金 常陽銀行 北竜台支店	571,435	567,492	3,943	
普通預金 三菱東京UFJ銀行 代々木上原支店	0	0	0	
特定資産計	4,040,591	4,036,697	3,894	
固定資産合計	4,040,591	4,036,697	3,894	
資産合計	7,708,419	6,977,662	730,757	
II. 負債の部				
1. 流動負債				
	0	0	0	
負債合計	0	0	0	
III. 正味財産の部				
1. 指定正味財産	0	0	0	
2. 一般正味財産	7,708,419	6,977,662	730,757	
正味財産合計	7,708,419	6,977,662	730,757	
負債及び正味財産合計	7,708,419	6,977,662	730,757	

上記 損益計算書、貸借対照表を監査し、適切と認めます。

粒子・流体プロセス部会監事

平成24年 月 日

印

平成24年 月 日

印

科目・内訳	部会	熟物質流体	ミキシング技術	気液個分散	流動層	粉体プロセス	合計
I 事業活動収支の部							
1. 事業活動収入							
① 会費収入	760,000	0	0	0	0	0	760,000
個人賛助会員	35,000						35,000
法人賛助会員	725,000						725,000
② 事業収入	0	0	0	0	0	0	0
③ 分科会収入(事業)	0	72,500	1,708,000	0	1,585,113	0	3,365,613
熟物質流体工学分科会収入		72,500					72,500
ミキシング技術分科会収入			1,708,000				1,708,000
気液個分散工学分科会収入				0			0
流動層分科会収入					1,585,113		1,585,113
粉体プロセス分科会収入						0	0
④ 雑収入					50		50
⑤ 利息収入	180	128	324	215	239	98	1,184
⑥ 他会計からの繰入金	778,000	88,678	303,991	78,038	97,935	164,607	1,511,249
化学工学会本部から繰入(含共催)	778,000						778,000
秋季大会還付金収入							0
分科会より繰入							0
部会より繰入		88,678	303,991	78,038	97,935	164,607	733,249
事業活動収入計	1,538,180	161,306	2,012,315	78,253	1,683,337	164,705	5,638,096
2. 事業活動支出							
① 事業費支出	184,219	0	0	0	0	0	184,219
	184,219						184,219
② 分科会事業費	0	104,178	1,550,634	144,111	1,337,463	387,213	3,523,599
熟物質流体工学分科会事業費		104,178					104,178
ミキシング技術分科会事業費			1,550,634				1,550,634
気液個分散工学分科会事業費				144,111			144,111
流動層分科会事業費					1,337,463		1,337,463
粉体プロセス分科会事業費						387,213	387,213
③ 管理費支出	198,284	2,810	191,932	41,510	15,557	16,130	466,223
IT化費	0		50,000				50,000
会議費	17,700		31,360	5,040		15,000	69,100
旅費交通費	24,000			35,000			59,000
通信運搬費	6,240						6,240
消耗品費	24,569				11,357		35,926
印刷製本費	0						0
雑費	5,775	2,810	2,572	1,470	2,100	1,130	15,857
人件費(アルバイト)	120,000		108,000		2,100		230,100
④ 他会計への繰出金	733,249	0	0	0	0	0	733,249
化学工学会本部への繰出(含共催)							0
シンポジウム準備金等 繰出							0
分科会への繰出	733,249	0					733,249
事業活動支出計	1,115,752	106,988	1,742,566	185,621	1,353,020	403,343	4,907,290
3. 事業活動収支差額	422,428	54,318	269,749	-107,368	330,317	-238,638	730,806
II 投資活動収支の部							
1. 特定資産取崩収入							
気液固分散工学							0
粒子プロセッシングシンポジウム							0
日中流動層シンポジウム							0
粒子・流体プロセス技術コース							0
2. 特定資産取得支出							
IWPI準備金							0
気液固分散工学							0
ミキシング行事積立預金							0
粒子・流体プロセス技術コース					3,943		3,943
3. 投資活動収支差額							
	0	0	0	0	-3,943	0	-3,943
当期収支差	422,428	54,318	269,749	-107,368	326,374	-238,638	726,863
前期繰越金	343,331	201,645	168,757	253,381	1,470,705	503,146	2,940,965
次期繰越金	765,759	255,963	438,506	146,013	1,797,079	264,508	3,667,828

粒子・流体プロセス部会 2012年度(2012年3月～2013年2月)事業計画書

2012年1月10日

1. 国際関連事業

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・部会セミナー
- ・熱物質流体工学セミナー
- ・ミキシング技術夏期セミナー
- ・ミキシングサロン
- ・気液固分散工学セミナー
- ・流動化・粒子プロセッシングシンポジウム
- ・先端微粒子ハンドリング講演会

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・第44回秋季大会(東北大学)

4. 講習会などの啓発活動

- ・技術コース

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

6. 受託事業の推進

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・部会ニュースレター
- ・気液固分科会ニュースレター
- ・ミキシングテクノロジーNow の発行

8. その他

- ・部会賞の公募, 審査・授与

第 44 回秋季大会シンポジウム

シンポジウム1	シンポジウム2	シンポジウム3	シンポジウム4
和文:粉体プロセス技術の新展開—基礎現象、基礎技術から単位操作、応用事例まで	和文:精密高度化・多様化するミキシング技術	和文:熟物質流体工学の最前線	和文:気泡・液滴・微粒子分散工学2012
英文:Development of powder process technology -from fundamental phenomena and technologies to their applications	英文:Precisely Developed and Diversifying Mixing Technology	英文:Cutting Edge Technologies for Transport Phenomena and Fluid Engineering	英文:Bubble, Drop and Particle Dispersion Engineering 2012
粒子状物質は、粉体や気相中のエアロゾル、液相中に浮遊したサスペンション、スラリーなどの状態で幅広い分野で取り扱われている。本シンポジウムでは、それら粒子を取り扱う粉体プロセス技術について、基礎現象、測定・計測などの基礎技術から、実プロセスへの応用事例まで、幅広く最近の研究成果を募り、その報告と討論を行いたい。	近年、製品のさらなる品質向上を目指した従来とは異なる新たな方式による攪拌技術の開発などによりミキシング技術の多様化が進んでいる。また、攪拌装置内の流動、混合状態の計測法および数値シミュレーションを含む解析法の精密高度化、多様化により従来とは異なる視点から装置の評価、設計がなされるようになってきている。本シンポジウムではそれら最先端の攪拌技術、計測法、解析法に関する	化学装置内で起こる熱・物質・流体の移動現象を明らかにすることは化学プロセスの設計および運転において極めて重要である。近年、高度な計測および数値シミュレーション技術の発展により複雑な移動現象へのアプローチが可能になってきた。本シンポジウムでは、混相流、乱流、反応流、複雑流体など移動現象の諸問題を対象とし、その計測ならびに計算技術の最新成果、および複雑な移動現象の解	連続液相中への気泡、液滴および粒子の分散、あるいは連続気相中への液滴の分散挙動の解明は、ガス吸収器、溶媒抽出、バイオリアクター、マイクロリアクターをはじめとする装置設計や操作に非常に重要である。さらにマイクロバブルやエマルションなどの応用にも欠かせません。このような重要課題の解決には、相界面の挙動や各相の流動・熱物質移動解析、計測技術・実験手法の提案、CFDを駆使した推
Particulate materials exist as as a powder, aerosol, suspension, slurry and so on. In this symposium, the fruits of recent research on fundamental phenomena and/or fundamental technologies of the particulate materials and their application to a process will be reported and discussed.	Recently, new mixing systems have been developed and mixing technology is diversifying. In addition, evaluation and design of mixing equipments from new view points by means of highly developed methods of measurements and analyses including methods of numerical simulations. In this symposium, presentations on the new mixing technologies, methods of	Cutting edge technologies of measurements and computations for transport phenomena associated with heat and mass transfer, multiphase flows, turbulent flows, reactive flows, complex fluids, etc. will be presented as well as the results obtained by these technologies. Applications exploiting the results will also be included.	The understanding of the dynamic motion of dispersed bubbles, drops and particles in suspending fluids is very important to the design and operation of gas absorption equipment, liquid-liquid extractions, bioreactors, microreactors, etc. Such knowledge is also essential for practical applications of microbubbles and emulsions and so on. In this
粉体プロセス分科会	ミキシング技術分科会	熟物質流体工学	気泡・液滴・微粒子分散工学分科会
氏名(フリガナ):後藤邦彰(ゴトクニアキ) 所属:岡山大学自然科学研究科 e-mail: gotoh@cc.okayama-u.ac.jp	氏名(フリガナ):吉川史郎(ヨシカワ シロウ) 所属:東京工業大学 e-mail: syoshika@chemeng.titech.ac.jp	氏名(フリガナ):本間俊司(ホンマジュンジ) 所属:埼玉大学大学院理工学研究科 e-mail: honma@apc.saitama-u.ac.jp	氏名(フリガナ):太田 光浩(オオタ ミツヒロ) 所属:室蘭工業大学 e-mail: mohta@mmm.muroran-it.ac.jp
氏名(フリガナ):松山 達(マツヤマタツシ) 所属:創価大学工学部 e-mail: tatsushi@t.soka.ac.jp	氏名(フリガナ):西岡光利(ニシオカ ミツトシ) 所属:佐竹化学機械工業株式会社 e-mail: m.nishioka@satake.co.jp	氏名(フリガナ):木原洋介(マツカマヨウスケ) 所属:九州大学大学院工学研究院化学工学部門 e-mail: ymatsu@chem-eng.kyushu-u.ac.jp	氏名(フリガナ):島田 直樹(シマダ ナオキ) 所属:住友化学(株) e-mail: shimadan@sc.sumitomo-chem.co.jp
氏名(フリガナ):福井国博(フクイケニヒロ) 所属:広島大学工学研究科 e-mail: kfukui@hiroshima-u.ac.jp	氏名(フリガナ):庄野厚(ショウノ アツシ) 所属:東京理科大学 e-mail: ashono@ci.kagu.tus.ac.jp	氏名(フリガナ):山本量一(ヤマモトリヨウイチ) 所属:京都大学大学院工学研究科化学工学専攻 e-mail: ryochi@cheme.kyoto-u.ac.jp	氏名(フリガナ):水田 敬(ミズタ ケイ) 所属:鹿児島大学 e-mail: kmizuta@cen.kagoshima-u.ac.jp
氏名(フリガナ): 所属: e-mail:	氏名(フリガナ):仁志和彦(ニシ カズヒコ) 所属:横浜国立大学 e-mail: nishi@ynu.ac.jp	氏名(フリガナ):藤原伸一(キハラシンイチ) 所属:広島大学大学院工学研究院 e-mail: snkikara@hiroshima-u.ac.jp	氏名(フリガナ):藤岡 沙都子(フジオカ サトコ) 所属:慶應義塾大学 e-mail: fujioka@applic.keio.ac.jp
氏名(フリガナ):後藤邦彰(ゴトクニアキ) 所属:岡山大学自然科学研究科 電話:086-251-8084 Fax:086-251-8085 e-mail: gotoh@cc.okayama-u.ac.jp	氏名(フリガナ):吉川史郎(ヨシカワ シロウ) 所属:東京工業大学大学院理工学研究科化学工 電話:03-5734-3278 Fax:03-5734-3278 e-mail: syoshika@chemeng.titech.ac.jp	氏名(フリガナ):本間俊司(ホンマジュンジ) 所属:埼玉大学大学院理工学研究科 電話:048-858-3510 Fax:048-858-3510 e-mail: honma@apc.saitama-u.ac.jp	氏名(フリガナ):太田光浩(オオタミツヒロ) 所属:室蘭工業大学 電話:0143-47-0162 Fax:0143-47-0162 e-mail: mohta@mmm.muroran-it.ac.jp
0 件程度	0件程度	0 件程度	0件程度
行う	行う	行う	行う
口頭	口頭・ポスター	口頭	口頭
()とくにご希望なし	()とくにご希望なし	()とくにご希望なし	()とくにご希望なし
(○)1日目 午前(9:00-12:00)	(○)1日目 午前(9:00-12:00)	(○)1日目 午前(9:00-12:00)	(○)1日目 午前(9:00-12:00)
(○)1日目 午後(13:00-17:00)	(○)1日目 午後(13:00-17:00)	(○)1日目 午後(13:00-17:00)	(○)1日目 午後(13:00-17:00)
(○)2日目 午前(9:00-12:00)	(○)2日目 午前(9:00-12:00)	(△)2日目 午前(9:00-12:00)	(○)2日目 午前(9:00-12:00)
(○)2日目 午後(13:00-15:00)	()2日目 午後(13:00-15:00)	(△)2日目 午後(13:00-15:00)	()2日目 午後(13:00-15:00)
()3日目 午前(9:00-12:00)	()3日目 午前(9:00-12:00)	()3日目 午前(9:00-12:00)	()3日目 午前(9:00-12:00)
()3日目 午後(13:00-17:00)	()3日目 午後(13:00-17:00)	()3日目 午後(13:00-17:00)	()3日目 午後(13:00-17:00)
(小:60名以内, 中:80名以内, 大:150名以内)	(小:60名以内, 中:80名以内, 大:150名以内)	(小:60名以内, 中:80名以内, 大:150名以内)	(小:60名以内, 中:80名以内, 大:150名以内)
第一希望:中	第一希望:小	第一希望:中	第一希望:中
第二希望:小	第二希望:	第二希望:小	第二希望:大
口頭・ポスター	口頭・ポスター	口頭・ポスター	口頭・ポスター
()とくにご希望なし	()とくにご希望なし	()とくにご希望なし	()とくにご希望なし
()1日目 午前(9:00-12:00)	()1日目 午前(9:00-12:00)	()1日目 午前(9:00-12:00)	()1日目 午前(9:00-12:00)
()1日目 午後(13:00-17:00)	()1日目 午後(13:00-17:00)	()1日目 午後(13:00-17:00)	()1日目 午後(13:00-17:00)
()2日目 午前(9:00-12:00)	()2日目 午前(9:00-12:00)	()2日目 午前(9:00-12:00)	()2日目 午前(9:00-12:00)
()2日目 午後(13:00-15:00)	()2日目 午後(13:00-15:00)	()2日目 午後(13:00-15:00)	()2日目 午後(13:00-15:00)
()3日目 午前(9:00-12:00)	()3日目 午前(9:00-12:00)	()3日目 午前(9:00-12:00)	()3日目 午前(9:00-12:00)
()3日目 午後(13:00-17:00)	()3日目 午後(13:00-17:00)	()3日目 午後(13:00-17:00)	()3日目 午後(13:00-17:00)
(小:60名以内, 中:80名以内, 大:150名以内)	(小:60名以内, 中:80名以内, 大:150名以内)	(小:60名以内, 中:80名以内, 大:150名以内)	(小:60名以内, 中:80名以内, 大:150名以内)
第一希望:	第一希望:	第一希望:	第一希望:
第二希望:	第二希望:	第二希望:	第二希望:

化学工学会年鑑 2011

執筆者

◆熱物質流体工学分科会

・門叶 秀樹 (山形大学)

◆ミキシング技術分科会

・高橋幸司 (山形大学)

◆気泡・液滴・微粒子分散工学分科会

・水田 敬 (鹿児島大学)

◆流動層分科会

・

◆粉体プロセス分科会

・後藤邦彰 (岡山大学)

・瀬戸章文 (金沢大学)

平成24年度 部会 収支予算書				
(平成24年3月1日から平成25年2月28日まで)				
粒子・流体プロセス部会				
部長 齋藤 文良 印				
(単位:円)				
科目・内訳	H24年度予算	H23年度予算	差異	備考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 会費収入	784,000	832,000	-48,000	
部会個人会員会費			0	本部へ入金
部会法人会員会費			0	
部会学生会員会費			0	免除
個人賛助会員	34,000	32,000	2,000	化学工学会非会員
法人賛助会員	750,000	800,000	-50,000	化学工学会非会員
② 事業収入	50,000	500,000	-450,000	
セミナー収入	50,000	500,000	-450,000	
			0	
③ 分科会収入	3,700,000	3,630,000	70,000	
熱物質流体工学分科会収入	150,000	180,000	-30,000	
ミキシング技術分科会収入	1,200,000	1,230,000	-30,000	
気液固分散工学分科会収入	250,000	20,000	230,000	
流動層分科会収入	2,000,000	2,000,000	0	
粉体プロセス分科会収入	100,000	200,000	-100,000	
④ 雑収入	0	0	0	
⑤ 利息収入	5,000	5,000	0	
粒子・流体プロセス部会利息収入	1,000	1,000	0	
熱物質流体工学分科会利息収入	1,000	1,000	0	
ミキシング技術分科会利息収入	1,000	1,000	0	
気液固分散工学分科会利息収入	1,000	1,000	0	
流動層分科会利息収入	1,000	1,000	0	
粉体プロセス分科会利息収入	1,000	1,000	0	
⑥ 他会計からの繰入金	550,000	550,000	0	
本部より(共催金)		0	0	
部会交付金(本部より)	550,000	550,000	0	
秋季大会還付金収入			0	
事業活動収入計	5,089,000	5,517,000	-428,000	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	700,000	700,000	0	
講演会経費	200,000	200,000	0	
セミナー経費	300,000	300,000	0	
部会賞表彰経費	200,000	200,000	0	
② 分科会事業費	3,860,000	4,430,000	-570,000	
熱物質流体工学分科会事業費	200,000	230,000	-30,000	
ミキシング技術分科会事業費	1,300,000	1,430,000	-130,000	
気液固分散工学分科会事業費	60,000	270,000	-210,000	
流動層分科会事業費	2,100,000	2,200,000	-100,000	
粉体プロセス分科会事業費	200,000	300,000	-100,000	
③ 管理費支出	350,000	350,000	0	
会議費	50,000	50,000	0	理事会、幹事会費用他
旅費交通費	100,000	100,000	0	
通信運搬費	20,000	20,000	0	
消耗品費	30,000	30,000	0	
図書費	0	0	0	
雑費	20,000	20,000	0	振込手数料他
人件費(アルバイト)	130,000	130,000	0	
④ 他会計への繰出金	30,000	30,000	0	
化学工学会本部への繰出(含共催)	30,000	30,000	0	
			0	
事業活動支出計	4,940,000	5,510,000	-570,000	
3. 事業活動収支差額	149,000	7,000	142,000	
II. 投資活動収支の部				
1. 特定資産取崩収入			0	
2. 特定資産取得支出			0	
3. 投資活動収支差額	0	0	0	
当期収支差	149,000	7,000	142,000	
前期繰越金			0	
次期繰越金			0	

平成24年度 化学工学会 粒子・流体プロセス部会 役員案(2012年3月16日)

	2012年度	所属	担当	分科会
部会長	上ノ山 周	横浜国立大学		
副部会長	梶原 稔尚	九州大学	部会賞担当兼 フロンティア賞担 当	ミキシング技術 監事
	後藤 邦彰	岡山大学	行事担当兼 部会セミナー担 当	粉体プロセス 代表
	竹田 宏	アールフロー	広報担当, ホー ムページ担当	
	鷺見 泰弘	カネカ	若手・女性育成 プロジェクト担当	
幹事	本間 俊司	埼玉大学	ニュースレター担 当(正)	熱物質流体工学 代表
	吉川 史郎	東京工業大学	部会セミナー担 当(正)	ミキシング技術 代表
	太田 光浩	室蘭工業大学	シンポジウム賞 担当	気泡・液滴・微粒子分 散工学代表
	筒井 俊雄	鹿児島大学	技術賞担当	流動層 代表
	後藤 邦彰 (再掲)	岡山大学	副部会長	粉体プロセス 代表
	松隈 洋介	九州大学	国際会議(IWPI) 担当(副)	熱物質流体工学 副代表
	西岡 光利	佐竹化学機械工業	若手・女性育成 プロジェクト担当	ミキシング技術 副代表
	島田 直樹	住友化学	動画賞担当	気泡・液滴・微粒子分 散工学副代表
	野田 怜司	群馬大学	会員増強担当	流動層 副代表
	福井 国博	広島大学	ニュースレター担 当(副)	粉体プロセス 副代表
企画幹事	鈴木 洋	神戸大学	国際会議(IWPI) 担当(正)	
	伊藤 光弘	太平洋セメント	若手・女性育成 プロジェクト担当	
	亀井 登	ダイセル	若手・女性育成 プロジェクト担当	
	所 千晴	早稲田大学	若手・女性育成 プロジェクト担当	
監事	齋藤 文良	東北大学		
	脇屋 和紀	大川原製作所		
事務局	仁志和彦	横浜国立大学		

平成 24 年 2 月 16 日

各部部长 殿

部会 CT 長 入谷英司

教科書・専門書出版に関する検討のご依頼

化学工学会に部会制が導入されて以来、基盤技術分野（基礎物性、粒子・流体プロセス、熱工学、分離プロセス、反応工学、システム・情報・シミュレーションの各部会）と展開技術分野（バイオ、超臨界流体、エネルギー、安全、エレクトロニクス、材料・界面、環境、化学装置材料の各部会）の各部会の活発な活動のもとに、化学工学分野の研究・技術の発展が促されています。現在、ほとんどの部会が 8 年目の継続審査を経て、次のステージに入り、新たな展開と飛躍が期待されます。

基盤技術分野と展開技術分野の各部会のこれまでの成果を目に見える形にして、化学工学の学問分野の更なる深化と発展に繋げるために、部会ベースで、たとえば基盤技術分野の基礎的事項や成果を纏めた教科書や展開技術分野の進展をフォローアップした専門書などをシリーズ化して出版する機が熟しつつあると考えられます。部会 CT・部会長合同会議では、昨年より、シリーズ化した教科書・専門書の叢書出版に向けての検討を始めたところであり、是非、各部会のご協力を仰ぎたいと考える次第です。

つきましては、こうした教科書・専門書の出版について、貴部会でのご対応を含め、どのようなお考えをお持ちであるかについて、年会等の部会幹事会や総会等でご検討、お纏めいただき、以下の回答欄にご回答いただければありがたく存じます。

なお、回答は 4 月 27 日（金）までに化学工学会事務局の梶原までメール(kajiwara@scej.org)でご提出願います。

回 答 欄

部会名 :

・ 貴部会の教科書・専門書出版に関して

賛同する、 見送る

・ 対象・内容

学部学生向け教科書・参考書、 技術者・大学院学生向け専門書

その他

(具体的にご記入下さい；

)

・ 部会で既に出版している教科書・専門書等がある場合には、書名、出版社、編著者名、発行年を、以下にご記入下さい。

例) はじめての化学工学、化学工学会高等教育委員会編、丸善(2007)

・ 意見・要望等がございましたら、下欄にご記入下さい。

--

会員状況について

◆部会会員状況 (2012年3月6日現在)

	個人会員	特別法人会員	特別個人会員 A	特別個人会員 B
2010年4月	709	36	7	5
2010年8月	740	34	8	5
2011年3月	733	34	9	5
2011年8月	745	32	9	5
2012年3月	745	32	10	5

入会

個人会員 A 吉田有香 (株式会社 IHI) 2010年5月

個人会員 A 篠崎 功 (三井造船株式会社) 2011年2月

個人会員 A 花田敏広 (旭有機材工業株式会社) 2011年10月

退会

特別法人会員 千代田化工建設株式会社 2010年4月

特別法人会員 株式会社日立プラントテクノロジー 2010年5月

特別法人会員 出光テクノファイン株式会社 2011年5月

特別法人会員 アステラス製薬株式会社 2011年6月

◆分科会会員状況 (2012年3月6日現在)

	熱物質	ミキシング	気液固	流動層	粉体
個人会員	81	90	65	85	139
特別法人会員	4	24	2	5	6
特別個人会員 A	1	6	3	1	4
特別個人会員 B	1	3	0	0	2

分科会会員状況 (2011年9月5日現在)

	熱物質	ミキシング	気液固	流動層	粉体
個人会員	84	92	65	87	146
特別法人会員	4	24	2	5	6
特別個人会員 A	1	5	3	1	4
特別個人会員 B	1	3	0	0	2

分科会会員状況(2011年3月2日現在)

	熱物質	ミキシング	気液固	流動層	粉体
個人会員	86	92	66	94	151
特別法人会員	4	25	2	5	7
特別個人会員A	1	5	3	1	4
特別個人会員B	1	3	0	0	2

分科会会員状況(2010年9月3日現在)

	熱物質	ミキシング	気液固	流動層	粉体
個人会員	86	92	66	96	154
特別法人会員	4	25	2	5	7
特別個人会員A	1	4	3	1	4
特別個人会員B	1	3	0	0	2